

奈弓連だより

通巻 257号

令和5年7月号
発行 奈良県弓道連盟
会長 西中正
編集担当 松澤和実 中西省五
連絡先：henshu@narakyudo.jp

全日本弓道選手権大会 近畿地域弓道連合会予選会 佐藤俊(郡山)、藤岡順(郡山)、林秀子(橿原)、 八木純子(錬弓会)、の4名が本大会へ

7月16日(日)、滋賀県立武道館弓道場にて全日本選手権大会の近畿地域弓道連合会予選会が開催されました。6府県の代表として男子29名、女子26名が参加し、まず予選が一手2回の採点制で行われ、2中以上の得点上位10名が決勝進出となります。その後決勝が一手2回で行われ、6名(得点上位者2名+的中上位者)が本大会出場者として選出されます。今年度は、前年度までのようなコロナウイルス感染防止の対



策による諸々の制限がほとんど撤廃され、男女ともに県代表の方々の射を存分に拝見することができました。

奈良県勢では、男子は藤岡さん、佐藤、女子は松村さん、林さん、八木さんが予選を通過し、最終的に男子は藤岡さんと佐藤、女子は林さんと八木さんが本大会出場となりました。閉会式では、近畿連合会の中村会長より、「予選会の射を見ていたら、大いに期待が持てる。本大会でも頑張ってください。」との講評がありました。

私は近畿予選には3回目の出場で、今回が初めての予選突破でした。須田先生をはじめとする先生方、日頃練習を共にする弓友の皆様、ご指導やご助言ありがとうございました。稽古不足に加え一ヶ月前に筈を起こしてしまい、昨年購入したものの当時は強くあまり引かずに置いていた弓を引っ張り出してきての出場でした。そういうことがあったので、かえって開き直って集中できたのかも知れません。細かいことは考え

昇段おめでとうございます

令和5年度第1回地連審査会(7/9 橿原公苑弓道場)において次の方々が昇段されました。

四段

西尾 義輝さん (錬弓会)

小代 敦子さん (橿原支部)

吉里 晃秀さん (蒼穹会)

盛山 智貴さん (橿原支部)

おめでとうございます。(事務局)

ないようにして、少しでも迷いのある間は絶対に離さず、どこまでも会で粘ろうと思って臨みました。全日本選手権大会は自分には憧れの大会だったので、結果を聞いた時はまさかとあつけにとられました。すぐに「ついに念願叶った！」と嬉しい気持ちが湧いてきました。とはいえ、閉会式では奈良県だけでなく近畿の代表ということを実感し身が引き締められました。本大会まで短い期間なので、課題を見定めて修練していこうと思います。



左から 八木選手、林選手、藤岡選手、佐藤選手
(郡山支部 佐藤俊)



令和5年度全日本弓道選手権大会

天皇盃第74回全日本男子弓道選手権大会
皇后盃第56回全日本女子弓道選手権大会
上記大会は9/29日(金)～10/1日(日)全日本弓道連盟中央道場において開催されます。

令和5年度 伝達講習会

弓道への取り組み、コンプライアンス(ハラスメント・矢羽関係)、公益法人について、自然・環境保護憲章の制定について伝達し、各回で実技研修を行う

<第1回目・称号者対象>

6月25日(日)、樫原公苑弓道場において標題の講習会が午前の部(17名)と午後の部(21名)の二部制により開催されました。講師は近畿地区指導者講習会(5/13・5/14彦根市)に参加の藤岡先生、綿松先生、松村先生、白井先生、東中先生でした。伝達事項については、標題の事項が資料として配布され、内容の説明がありました。



真剣に伝達事項を聞く受講生の先生方

午前の部、午後の部とも、まず一手行射を行い、2射場に別れて午前の部は一つの射礼の研修。立位置や体配の細かい所まで指導があり、皆さん熱心に取り組んでおられました。午後の部では、立射礼を研修。女性が大前の時は弓を立てるタイミングがわからないのですが、間を計り、合図をもらいながら何とか行



互いの動きを意識しながらの立射礼研修

いました。それぞれ研修の最後には講師の一つの(綿松先生、藤岡先生)、立射礼(白井先生、東中先生、松村先生)を拝見させていただき、射礼の息合いや美しさを感じることができました。今回は、事前に射礼をすることと、立順が連絡されており、皆さんそれぞれ予習されてきたようで、講習会自体がスムーズに運び、一つ先の指導がいただけたと思います。丁寧な熱い指導をありがとうございました。(指導部 松澤和実)

<第2回・学校指導者対象>

7月1日(土)樫原公苑弓道場に於いて、県教職員大会終了後に学校指導者対象の講習会(参加者12名)が実施されました(講師は近畿地区指導者講習会参加の先生方と近畿地区学校指導者講習会参加の澤先生)。開講式終了後、澤先生より道具の点検やハラスメント



真剣に伝達事項を聞く受講生の先生方

等、伝達事項を中心に講義があり、その後一手行射、射技研修に続いて相互研修を行いました。



熱心に相互研修に取り組む

講師の先生方・受講生の先生方共に熱心に取り組んでいただいたほか、相互研修において各班とも積極的に研修を進められていたのがとても印象的でした。閉講式において、西浦副会長からは「午前の大会の射と比較して午後の研修ではみるみる射が良くなっていく様子が見られた」、「それは講師の先生方の熱意に加えて指導を受ける側の素直で積極的な姿勢があったからこそである」、「1人稽古は我流に繋がることを心に刻み学校に戻っても研鑽を続けて欲しい」等のお話がありました。教育現場もいろいろとご負担が多いものと拝察していますが、今後の益々のご活躍をお祈りしています。最後になりましたが、暑い中熱心なご指導をいただきました先生方に心よりお礼を申し上げます。ありがとうございました。

(指導部 大西洋亮)

令和5年度第1回地連審査（橿原）

射技・体配ともにもう少し修練を積んで

7月9日（日）橿原公苑弓道場に於いて審査会が開催されました。天気予報では大雨予想でしたが、午後から晴れ間も出て蒸し暑い一日となりました。

今年度初めての審査会ですが、コロナ禍を乗り越えてもなお従来通りとはいかず対策が必要で、学科審査はレポート形式、受付は前半/後半の二部制での実施となりました。しかし徐々に「開会式・矢渡し」が行われ、前半受付の方がほぼ全員参加されました。

審査会からの感想、反省、審査員からの意見

- ・会長挨拶や審査員紹介の時、礼をしない学生が多く、礼をされたら礼を返すことを教える必要がある。
- ・中学生、高校生の中には、基本体や体配の稽古不足が目につく方が多くいた。
- ・足袋の汚れが目立つものも多く、天候を考慮し替えの足袋を用意する気持ちを持って欲しい。

等の話がありました。

中学生で1名 初段に合格されました。

審査結果は次の通りです。

級位	受審者 35名	1級査定 16名、2級査定 11名
		3級査定 3名、現級 5名
初段	受審者 43名	合格者 35名
弐段	受審者 10名	合格者 7名
参段	受審者 14名	合格者 2名
四段	受審者 15名	合格者
以上		

（審査部 中井達男）

特別国民体育大会・奈良県代表の最終選考会 成年の部、少年の部の男女各選手が決定

6月18日（日）に橿原公苑弓道場・庭球場において特別国民体育大会の最終選考会が開催されました。選考された選手は、8月19日と20日に兵庫県立弓道場で行われる近畿ブロック大会に出場し、全国への切符を争います。

<成年の部>

選考の結果、男女選手各3名、補欠各2名が下記の通り選ばれました。今年も本国体に向け頑張っていきます。

成年男子

選手：西田友樹（橿原）、中谷祥之（奈良医大）
盛山智貴（橿原）
補欠：瀬戸雅弘（生駒）、吉里晃秀（香芝）

成年女子

選手：八木純子（錬弓会）、土谷ひろみ（奈良）、
前川なつき（橿原）
補欠：森山まこと（奈良教育大）植島直子（橿原）
（強化部 長濱正伸）

<少年の部>

少年男子

小川煌太（法隆寺国際） 安達冬弥（法隆寺国際）
中島健太郎（桜井） 山本洋輔（桜井）
谷口光希（橿原）

少年女子

野村美優（法隆寺国際） 小西佑奈（桜井）
池下琴音（高田商業） 米田理乃（高田商業）
吉田望愛（五條）



少年男女代表選手

（高体連 布施慈人）



特別国民体育大会（10/7-10/17）

第75回鹿児島国体（2020年開催予定だった）、第76回三重国体（2021年開催予定だった）はコロナ禍のため中止された。第75回、第76回は完全欠番大会（幻の国体）となる。

2023年に国民スポーツ大会として開催予定だった佐賀県が特例として2024年に順延開催を受け入れ、2023年に回数をつけない「特別大会」として鹿児島で実施される。三重県は延期開催しない。

かごしま国体 弓道競技は10/13-16開催予定

第 74 回奈良県民体育大会

優勝は団体男子 生駒市、団体女子 橿原市

7月2日(日)、県立橿原公苑弓道場に於いて、第74回奈良県民体育大会が行われました。当日は梅雨の晴れ間で30℃を超える真夏日の中、予定通り遠的8射、近的8射の計16射が行われました。男子女子共に昨年を上回るチーム数で、市郡对抗戦男子11チーム33名と公開競技4人の計37人、市郡对抗戦女子11チーム33人と公開競技8人の計41人の参加でした。

結果は以下の通りです。

<市郡对抗戦 男子 団体>



- 1位 生駒市 33中
- 2位 橿原市 30中
- 3位 吉野郡 27中

下段左から
()内は監督

生駒市 山口亮二・瀬戸雅弘・宮崎健二 (平野秀和)
橿原市 盛山智貴・西田友樹・中野順平 (綿松昭寛)
吉野郡 新子紘司・鳶岡義人・新子修平 (裏田高寛)

<市郡对抗戦 女子 団体>



- 1位 橿原市 33中
- 2位 香芝市 23中
- 3位 奈良市 22中

下段左から
()内は監督

橿原市 八木純子・前川なつき・原田温美 (東中千佳)
香芝市 白井礼子・脇阪佳江・吉里愛 (白井礼子)
奈良市 西田ゆり・揚田よう子・土谷ひろみ (明瀬綾子)

<市郡对抗戦 男子 個人>

- 1位 盛山智貴 (橿原市) 15中
- 2位 瀬戸雅弘 (生駒市) 14中
- 3位 今西達也 (五條市) 13中

<市郡对抗戦 女子 個人>

- 1位 前川なつき (橿原市) 14中
- 2位 脇阪佳江 (香芝市) 12中
- 3位 八木純子 (橿原市) 11中

<公開競技 成年男子> <公開競技 成年女子>

- 1位 吉川嘉則 5中
- 2位 楠田成器 5中
- 3位 石坂真也 4中
- 1位 上垣智美 7中
- 2位 梅崎康代 6中
- 3位 東郷仁美 4中



市郡对抗戦 入賞者



公開競技 入賞者

(競技部 吉里晃秀)

第 34 回奈良県教職員弓道大会

3年ぶりに集い、弓を楽しむ

7月1日(土)梅雨空のもと橿原公苑弓道場にて、第33回県教職員弓道大会を開催しました。コロナ禍の関係から3年ぶりの開催となり、男性11名(西浦範光会長を含む)、女性5名の教職員が集いました。西浦会長からは「教職員をめぐる多忙な中ではありますが、弓を楽しみましょう」との挨拶があり、一手5回の坐射で競いました。

男子の部

- 1位 土谷尚敬
- 2位 高岡 信
- 3位 井戸上博一

女子の部

- 1位 小西徳子
- 2位 榎田容子
- 3位 清水美千代



左から 3位 2位 1位 1位 2位 3位

ちなみ的小西さんの7中が最多でした。

競技終了後本年度の総会を終え、午後からの教職員向けの伝達講習会へつなぎました。(土谷尚敬)

編 | 集 | 後 | 記

今月は、全日本選手権大会の近畿予選会において、男女とも2名が本選への切符を勝ち取ったというとても喜ばしいニュースを届けることができました。暑い日が続いているので、熱中症に注意しながら活動しましょう。(編集担当 中西省五)